

**各協同組合からのお知らせ**

MELON の協力団体である各協同組合が取り組んでいる、環境に関する情報をご紹介します。

宮城県漁業協同組合から

**きれいな海を守る漁業**

近年、生活排水等に含まれるチッソ、リンの過剰流入により沿岸域の環境が影響を受けています。漁業は、適度な漁獲によって、魚介類の世代交代を促進し、繁殖・成長を高めるとともに、食物連鎖によって海の生物に取り込まれたチッソ、リンを陸に回収し、沿岸域の環境保全に貢献しています。

- ◆海で育つカキ・ホタテ・ホヤ・アサリなどは、海の水をきれいにします。
- ◆ワカメやノリなどの海藻類や植物プランクトンは、森林と同じように二酸化炭素を吸収して酸素を作っています。
- ◆チッソやリンが陸から多く流れてくると、海はよごれてしましますが、一方、栄養分として海藻や魚に蓄積されます。魚を食べることは、海をきれいにすることにもなります。
- ◆山に木を植えると、川がきれいになり、海にもきれいな水が流れ、魚や貝などが良く育ちます。  
うお りん (魚つき林)



みやぎ生活協同組合から

**酸性雨一斉測定**

～ 19 年間の測定活動から見えてきたこと～  
**参加者募集**

みやぎ生協メンバー、JA 女性組織協議会、県内の小・中・高等学校などの協力を得て 19 年間取り組んできた「宮城県内の酸性雨一斉測定活動」の終了にあたり、この活動を通じて私たちが学んだことや成果を振り返り、これからの活動につなげる会を開催します。



©MIC

【日 時】1 月 25 日 (月) 10 時 30 分～12 時  
【会 場】みやぎ生協文化会館ウイズ  
(仙台市泉区八乙女 4-2-2)  
【内 容】  
基調講演：北條祥子さん  
(尚絅学院大学環境学科教授 / MELON 理事)  
テーマ：「19 年間の酸性雨一斉測定活動から見えてきたもの」  
19 年間の測定活動を振り返り、これからの環境とくらしを考えます。  
【募集人数】100 名 (応募多数の場合は抽選)  
【参加費】無料  
【締め切り】1 月 15 日 (金)  
申込方法 住所・氏名・電話番号、企画名を明記し、ハガキ・FAX・メールのいずれかで下記までお申込ください。  
〒981-3194 仙台市泉区八乙女 4-2-2  
みやぎ生協生活文化部環境活動事務局  
TEL 022-218-3880 FAX 022-218-3663  
E-mail sn.mkankyok@todock.jp



**MELON20 周年をめざせ！  
50 人リレートーク**

第 29 回目の執筆者

植村千枝さん (青葉山の緑を守る会)

「青葉の森」からの発信

私達が活動拠点としている私有林「青葉の森」130ha は、奥羽山系の末端部に位置する青葉山の一角にあり、広瀬川を距てて連なる丘陵地です。

森に一步踏み込むと、コナラ、クヌギ、ホウなどの落葉樹に赤松が混ざり、深山幽谷の趣きです。早春には崖面にイワウチワ、踏み場もなく咲くカタクリ、ヒメギクチョウ、オオムラサキが舞うなど、四季それぞれの自然との出会いの楽しさ、市街地から至近距離にあるところで…と驚かされます。

種の多様性豊かな里山として胸をはって紹介できるのも、行政の一方的な開発行為を思いとどまらせた当会の努力があり、ぜひ参考にさせていただきたいと思えます。

当会が発足したのは 1994 年 7 月末、地元住民約 30 名で結成、15 年余り前です。さっそく情報公開し判明したことは 1990 年時の政府の政策「ふ

るさと創生事業一兆円構想」を受け、300 億円の市債も組み、青葉山を中心に都市型公園化計画をたて、市民には知らせず工事を進めていたのでした。公開質問状、監査請求、街頭署名を集めて提出するなどの活動に取り組みました。会発足 2 年を経た 1998 年、森の真ん中に車道 1.3km を造る計画が、オオタカ営業を理由に 300m で中止。市民・行政・企業の三者で約 1 年をかけて話し合い、2002 年には三居沢の崖面工事が自然配慮型工法で実現しました。

毎月第 2 日曜に行っている定例理事会は 1 月で 164 回目、トトロかんさつ会は 145 回となりました。豊かな自然を知っていただくために開催しているトトロかんさつ会の参加者は平均 50 名が集まります。多い時は 80 名を超え、2 時間のコースをゆっくり楽しめます。

会員は現在 510 名余りです。助成金を受けて MAP、DVD に続いてガイドブックができあがる予定です。

